



わくわくする涌谷町の創生へ――



謹賀新年 年頭のごあいさつ

心から住んで良かったと思える魅力ある町へ

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から町政に対して格別なるご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

昨年8月の町長選挙におきまして、町民の皆様方から温かいご支援を賜り、涌谷町長として町政を預かることになりました。就任後5か月になろうとしておりますが、町長という大変な重責を担った使命感に、改めて身の引き締まる思いであります。

さて、あの未曾有の東日本大震災が発生してから5年が経とうとしております。涌谷町におきましても、かつてない被害と長期にわたる不自由な日常となりましたが、地域住民相互で助け合い協力し、苦難を乗り越える大きな力となっていたいただきました。改めてご協力とご支援に感謝を申し上げます。

そうした中、国政においては石破地方創生担当大臣が中心となり「まち・ひと・しごと創生法案」が成立され、本格的にはじまる「地方創生」に向けた5か年の「地方版総合戦略」の策定が求められております。当町におきましても現在策定作業を進めております第五次総合計画との整合性を持たせた「地域特性を活かした魅

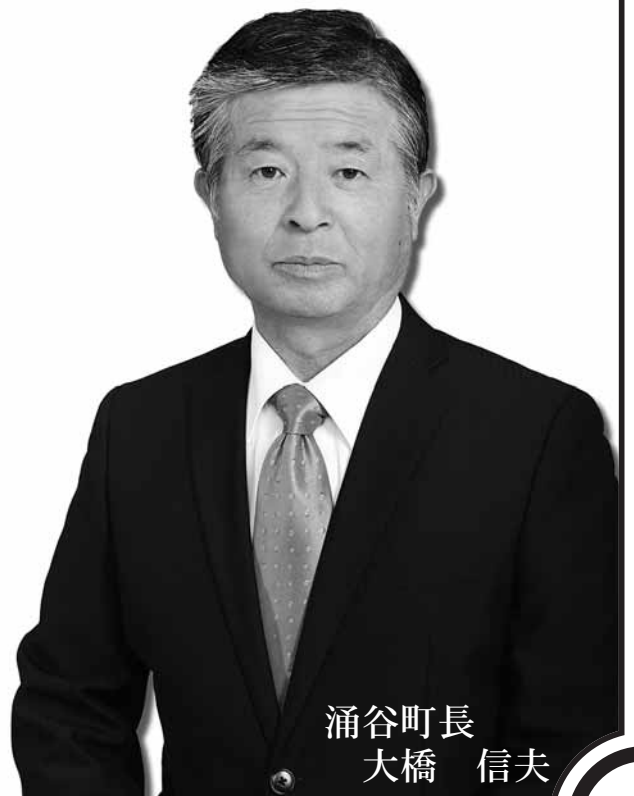
力あるまちづくり」としての「総合戦略」を策定し地方創生を推進してまいります。

それでは就任する際、涌谷の町が「活力のある町」に復活するため、皆様にお約束した5つの政策について申し上げます。

第一に「子どもを安心して生み育てられる支援」であります。国全体で人口減少と少子高齢化が進展しており、喫緊の課題として考えております。このため、子育て支援として「保育料」「教育費」「医療費」などの負担軽減対策に取り組み、また、若い世代が定住できる環境づくりとして企業誘致による雇用創出の促進や生活支援などの対策を進めてまいります。

第二に、「地域包括ケアシステムの確立」であります。涌谷町は昭和63年に「町民の健康と急速に進展する高齢化社会」に対応するため、病気予防から在宅リハビリサービスを含めた「保健、医療、福祉」の地域包括ケアシステムの確立を目指した町民医療福祉センターをオープン致しました。28年が経過した現在、国の医療制度や社会情勢の変化に対応するため、涌谷が推進している「保健、医療、福祉」に「介護、認知症対策」を含めた新しい地域包括ケアシステムの体制で推進し、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最後まで続けること

(3ページに続く)



涌谷町長
大橋 信夫

ができるよう、支援・サービスの提供に努めてまいります。

第三に、「農商工業振興による地域経済の活性化」であります。農産物の「わくやブランド」の開発や生産・加工・流通を目指した「六次産業化」を推進し、起業者開拓及び雇用の場の創出に努めます。また、農地の生産力向上と高品質農産物生産を図るため生産組織の法人化を進めたり、青年就農給付金など町独自の支援と経営安定までの指導体制で、農業所得の向上を図り後継者の育成に努めます。更に、平成29年に宮城県で開催されます第11回全国和牛能力共進会に向け、代表牛として選出されることを目指すため、新たに出品候補牛等に奨励金を交付するほか、各種奨励事業を必要に応じて継続拡大し、安全・安心な畜産経営の安定化を図ってまいります。

観光政策では、当町には日本で最初に「金」が産出され、奈良・東大寺の大仏建立時に献上したという他の町にはない歴史があります。この歴史を全国的に情報発信できるように「観光振興計画」を策定し、多様なニーズに応えるとともに涌谷の魅力を発信していきます。

第四に、「安全・安心な暮らしを支える防災対策」であります。災害に強いまちづくりを行うため、本年度事業実施しておりますのが、災害時に避難場所としての機能強化を図るため、涌谷公民館及び高齢者福祉複合施設（ゆうらいふ）に太陽光発電蓄電池設備の設置や雨水排水対策事業として長年の懸案でありました、内水問題解決のため新下町浦地内に「調整池」の整備などを予定しております。また、水害対策と

して、浸水想定区域図「洪水ハザードマップ」の見直しも進めてまいります。

震災以降当町では、「災害復旧計画」により復旧・復興を最優先として取り組んでまいりました。震災発生から5年が経過しますと、人々の記憶や震災に対する意識が薄れてまいります。東日本大震災を風化させないためにも、震災で得た経験や糧とした将来の災害リスクに引き続き備えてまいりたいと考えております。

第五に、「若者参加型の協働のまちづくり」であります。町の活力を生み出すのは、若い方々が行政に参加する参加型の町づくりであります。町内で活動している若い世代の町民と職員を対象にした「涌谷町かがやく協働まちづくり研究所」を設置して、自分たちが住む地域の課題解決等に取り組み、時代に合った魅力的な地域づくりが進むように、町民と行政との協働まちづくりを進展させます。

以上、町政運営につきまして申し上げさせていただきます。

本町は合併して以来60年を迎え、新たなスタートを切る大変重要な年となります。多様化する課題に一つひとつ対応し、皆様と共に新たな一歩を踏み出せるよう、あらためて町民皆様と視線を同じくし共創のまちづくりを進め、心から住んで良かったと思える魅力ある町づくりに邁進してまいりますので、更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、町民皆様にとりまして、本年も良い年でありますよう、心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



一般選挙

顔ぶれ

平成27年12月13日執行 涌谷町議会議員一般選挙 開票結果

平成27年12月13日(日)に、任期満了に伴う涌谷町議会議員一般選挙の投票が、町内10か所の投票所で行われ、即日開票の結果、新議員13名が選ばれましたので紹介します。(50音順 敬称略)

定数を15議席から13議席に2議席を削減し臨んだ今回の選挙には、21名が立候補しました。投票率は65・61%で平成23年に行われた前回の選挙に比べて3・53%上回りました。

新議員の任期は、平成28年1月1日から4年間となります。

議会は傍聴することができますので、より良い町づくりのため、皆さんの傍聴をお待ちしています。日程等詳細は、議会事務局にお問い合わせください。

▼選挙に関する問合せ先

涌谷町選挙管理委員会

☎ 43-2111

▼町議会に関する問合せ先

涌谷町議会事務局

☎ 43-2171



佐々木 みさ子
(63才・上町区)



大友 啓一
(60才・小里区)



稲葉 定
(63才・猪岡区)



杉浦 謙一
(46才・2の2区)



後藤 洋一
(65才・10区)



遠藤 釈雄
(64才・大谷地区)



鈴木 英雅
(61才・長根区)



佐々木 敏雄
(62才・日向区)



大泉 治
(62才・2の2区)

21名が立候補した涌谷町議会議員

新議員13名の

【候補者別得票数】

	氏名	党派・新現元職の別・当選回数	得票数
当 選	佐々木 敏 雄	無・新・初	803票
	竹 中 弘 光	無・新・初	704票
	後 藤 洋 一	無・現・2	655票
	大 泉 治	無・現・5	631票
	遠 藤 稔 雄	無・現・6	614票
	鈴 木 英 雅	無・現・4	572票
	杉 浦 謙 一	日本共産党・現・3	564票
	佐々木 みさ子	無・新・初	558票
	稲 葉 定	無・新・初	475票
	大 友 啓 一	無・現・2	438票
	門 田 善 則	無・現・4	436票
	久 勉	無・現・3	417票
	只 野 順	無・現・2	413票
	大 平 義 孝	無・現	407票
	伊 藤 雅 一	無・現	376票
	涌 澤 義 和	無・新	339票
	長 崎 達 雄	無・現	310票
	千 石 賢 一	無・新	216票
	野 田 享	無・新	197票
	齋 藤 栄 子	無・新	94票
	高 橋 登	無・新	67票



竹 中 弘 光
(58才・9の3区)



只 野 順
(64才・上谷地区)



久 勉
(67才・6区)



門 田 善 則
(57才・小里区)

【投票率】

	有権者数	投票者数	棄権者数	投票率(%)	前回の投票率
男	6,898人	4,450人	2,448人	64.51%	61.49%
女	7,404人	4,934人	2,470人	66.64%	62.64%
計	14,302人	9,384人	4,918人	65.61%	62.08%



大谷地行政区のお茶っこ飲み会

毎月第3土曜日、大谷地行政区の集落センターに、地域の人々が集う「お茶っこ飲み会」。
 今、地域の身体と心の健康維持向上に一役買っていると、民生委員から大きな注目を集めています。
 平成27年12月までに44回の開催を数える「お茶っこ飲み会」が、注目を集める理由をご紹介します。そして、ぜひ、皆さんの地域でも愛される「お茶っこ飲み会」を開催してみてください。



その1

お金を掛けずに
健康把握と機能向上を

氏名	年齢	性別	身長	体重	血圧	脈拍
1	72	女	152	48	110/70	72
2	75	女	155	52	115/75	75
3	78	女	158	55	120/80	78
4	81	女	160	58	125/85	81
5	84	女	162	60	130/90	84
6	87	女	165	65	135/95	87
7	90	女	168	70	140/100	90
8	93	女	170	75	145/105	93
9	96	女	172	80	150/110	96
10	99	女	175	85	155/115	99
11	73	男	165	65	130/85	78
12	76	男	168	70	135/90	81
13	79	男	170	75	140/95	84
14	82	男	172	80	145/100	87
15	85	男	175	85	150/105	90
16	88	男	178	90	155/110	93
17	91	男	180	95	160/115	96
18	94	男	182	100	165/120	99
19	97	男	185	105	170/125	102
20	100	男	188	110	175/130	105
21	74	女	155	50	115/75	75
22	77	女	158	53	120/80	78
23	80	女	160	56	125/85	81
24	83	女	162	59	130/90	84
25	86	女	165	62	135/95	87



お茶っこ飲み会は、元看護師の方による血圧・脈拍・体重測定から始まります。毎月の変化を記録していくことで、本人はもとより、地域で一人ひとりの健康状態の把握につながります。

その後、全員で輪になって健康体操。腕の上げ下げや身体の屈伸、踏み台を使った運動等、参加者の年齢に合わせたものとなっています。この体操を続けてきた結果、ご年配の参加者でも

片足立ちができるようになってきました。なお、踏み台は、学校の机の廃材を再利用したもの。

お金を掛けずとも工夫すること、身体の健康の維持向上はできると自信を持って話します。

写真上) 年齢を感じさせない軽快な動きを見せる健康体操。
 写真下左) 参加者全員が血圧と脈拍、体重を測定し、記録する。
 写真下右) 参加者の片足立ちにつながった手づくり踏み台。

身 体だけではなく、頭の体操も行います。そして、地域の人々が集うからこそ共有すべき情報があります。

この日は、火災報知機の電池交換時期や薄暮時の歩き方が紹介されました。その前の週には、遠田警察署の協力によって「オレオレ詐欺」等の「特殊詐欺」への対応を学びました。

一人では学べないことも、大勢だからこそ学べるようになります。話し合いなが



その2

みんなで学べば怖くない 頭脳を活性化



写真上) それぞれが持つノウハウを地域で共有し、地域のノウハウとする学び。
写真下) 家では目にも留めないチラシをしっかりと熟読。

ら楽しく学ぶことで、吸収しやすくなるのではないのでしょうか。

お茶っこ飲み会は、くらしの安全・安心を学びながら頭脳を活性化させる場ともなっています。



その3

やっぱり楽しくなくちゃ 大いに笑い大いに語らう



醍 醐味は、なんといいても語らいの時間。誕生日を迎える人がいれば、参加者の前でプレゼントを渡して祝い、持ち寄った漬物や煮物をつまみながら話に花を咲かせます。

また、誰もが恥ずかしがらず、カラオケや踊りを披露し、声高らかに笑い合い、楽しみます。

「第3土曜日に他の行事が重ならないことを願っています。みんなと会っておしゃべりしたり、踊りを踊

写真上) その月、誕生日を迎える方を参加者全員でお祝い。
写真下) カラオケや踊りを披露したり、各自が持ち寄った漬け物などを食べて楽しむ。

ることが健康の秘訣。またここに来るために健康でいなければと思うから」。

会場から笑顔が消えることはひと時もなく、誰しもが心から楽しむ様子から、かけがえのない時間であることがうかがえます。

お茶っこ飲みが紡ぐ 地域の絆

「大谷地区の『お茶っこ飲み会』は、地域づくりのために始めました。年寄りや家に閉じこもってばかりではいけない。老人クラブのくくりではなく、健康推進員や福祉推進員等も巻き込み、地域全体で、お金を掛けなくともできる健康寿命100歳に近づくための地域づくりに取り組んでいます」。会の世話を務める前姫クラブ熊谷栄一郎さんは、そう話します。

参加する人たちが持つ知識や経験を生かすことで、単なる「お茶っこ飲み会」が、そこに暮らす人々の明日への活力となり、身体と心の健康を維持向上させています。

大谷地の「お茶っこ飲み会」は、他の地域の皆さんの見学を歓迎するそうです。一度そのパワフルな「お茶っこ飲み会」を見学し、皆さんの地域でも始めてみませんか？

卓越した醸造家としての技能績に

川名醸治氏が現代の名工(卓越した技能者)



11月9日(月)に、創業106年の老舗仙台みそ醸造元・川名醸治の6代目川名醸治さんが卓越した技能を持ち、その道の第一人者として目されている技能者「現代の名工」に選ばれ、厚生労働大臣から表彰されました。

川名さんが作る川名醸造のみそやしょうゆは、「ふるさとパック」の商品として全国に涌谷町の味覚として発信しています。これからも伝統のみそ造りをお願いいたします。

長年にわたる消防団員としての功績に

佐久間信氏に瑞宝単光章(消防功労)



11月4日(水)に、秋の叙勲伝達式において、佐久間信さんが瑞宝単光章(消防功労)を受章されました。

昭和37年に消防団に任命されて以来、平成21年までの長きにわたり、住民の生命と財産を守るために活躍されてまいりました。

平成16年からは分団長として、後進の指導と消防体制の確立など多大な貢献をされた功績が認められ、今回の受章となりました。

納税の啓発と納税意識の高揚のため

納税標語コンクール入賞作品発表



前列左から、藤村さん、齋藤さん、廣瀬君、伊藤さん
後列左から、廣瀬さん、佐野さん、浅野君、大橋さん

涌谷町の未来を担う町内小中学校の児童生徒を対象に、納税の啓発及び納税意識の高揚を図るため、平成27年度「納税標語」を募集。

応募いただいた多数の作品に対して厳正なる審査を行った結果、右記のとおり入賞作品が決定いたしました。

なお、入賞された作品は、町内の公共施設に掲示するとともに、納税通知書及び封筒に印刷し活用させていただきます。

《小学生の部》

- ▶最優秀賞 この税で 豊かで すみよい町づくり
涌谷第一小学校 5年 齋藤綾音
- ▶優秀賞 税納め 暮らし整え 良き町へ
篁岳小学校 5年 藤村亜吹風
- ▶優秀賞 税金で あなたも参加 町づくり
涌谷第一小学校 6年 佐野美空
- ▶優秀賞 役立つ税 医療と福祉と 子育てと
涌谷第一小学校 6年 廣瀬誇実
- ▶審査員特別賞 税金で ささえよう 町の未来
小里小学校 5年 浅野洸樹
- ▶審査員特別賞 僕の町 つくろうつなごう 納税で
月将館小学校 5年 大橋季実果

《中学生の部》

- ▶最優秀賞 つくろう・守ろう・つなげよう
誇れる我が町 納税で
涌谷中学校 2年 廣瀬風流
- ▶優秀賞 納税に 込めた思いが 町変える
涌谷中学校 2年 伊藤紗那